

須藤 友丹 ドローイング《春の音》



ドローイング《春の音》
2023
242×333mm
岩絵具、麻紙、膠、色鉛筆

須藤 友丹（作家コメント）

絵皿に残った杉葉色を白い画面にたらし、はねかして、暫く眺めていると、
玄関先に毎年咲く秋明菊の群生して咲きゆれる光景がふわっと見えてきました。

そのイメージを、ふわっと立ち上がった一瞬で消えてしまいそうなたよりなさのままに、
画面に可視化したいと思いました。(2024/12/30)

